



SERVICE CLUB TO THE YMCA

# Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ  
NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU2-CHOME NAKAKU,  
NAGOYA 460 JAPAN



1994年 6月号

- ① 国際会長標語 In sharing we have forever “いつもわかち合いの心を”
- ② アジア会長標語 Think ASIA think Y' SDOM “考えようアジアとワイズ”
- ③ 日本区理事標語 Create a new age “創造しよう新時代”
- ④ 中部部長標語 伸ばそう中部にワイズの輪
- ⑤ 会長標語 温かい心で、まず右手をあげよう。

## 〈今月の聖句〉

その日、その時は、だれも知らない。  
天使たちも子もしらない。ただ父だけがご存知である。人の子が来るのは、ノアの時と同じだからである。  
マタイによる福音書 第24章36節～37節

### 強調月間:メネット

#### 「あなたは『仕事中毒』ですか」

油口 直広

仕事中毒は優秀な従業員を作り上げるために、尊敬に値する中毒であると言われてきました。しかし、当の本人には内面的な充実感のかけていることがあります。皆さんの中にもつらい気持ちを紛らわすために、あるいは何かに取り付かれたように人から認められることを求めて仕事をした経験をお持ちの方はいらっしゃいませんか。ある精神衛生のカウンセラーは、「仕事中毒の人は仕事に没頭していないと、憂鬱な気分、心配、憤り、絶望感、空虚な気持ちといった恐ろしい感情の洪水に見舞われることがある」と述べています。これは会社における仕事とは違いますが、例を挙げると、ある女性の場合6才のときから、料理や家事に励んだ報酬として、アルコール中毒の父親の愛情を獲得しようとした。「それは強迫観念になりました。

わたしがもっと多く、もっと上手にすれば、父はわたしを愛してくれる、と思いました。でも、その代わりに父から得たものは、厳しい批判だけでした」と彼女は言っています。さらに大人になった今でも自分の気持ちをこう述べています。「今でも内心では、自分は価値のない人間だと思っています。いまだに、愛は何かの報酬として獲得しなければならない、何かを生み出さない限り、自分には何の価値もないと思っています。パーティーの時など、わたしはそこにいる権利を獲得しようとするかのように、くたくたになるまで料理や雑用をします」。

しかし、考えてみてください。一生懸命に働くことは良いことですが強迫観念をもつ必要はないと思いませんか。私は、人の価値とは何かの報酬としてしか認められないものだとは思いません。もしも皆さんが強迫観念に駆られて仕事をするはめになったら、物事の根本をもう一度考えてみることをお勧めします。(次号は三井新会長の活動方針です)

### 1994年4月例会のご案内

#### 第一例会

と き; 6月13日(月)19時~21時  
と ころ; 名古屋至不二パークホテル  
TEL 962-2289

ドライバー: 油口直広君, アシスト: 吉田一誠君

卓話: マクロ経済の見方(景気・金利・為替の関係、  
経済諸指標の見方、西暦2000年の日本経済)

講師: 日本長期信用銀行 三浦 淳氏

5月例会がゲスト出席をされた三浦さんに最近の金融情勢についてお話しをしていただきます。

〈第一例会の欠席の連絡、及びゲストの同伴の連絡は食事の都合上必ずドライバー又は連絡主事へ6月10日までにして下さい。〉

#### 第二例会

と き; 6月28日(火) 19時~20時30分  
と ころ; 名古屋YMCA(上前津)

#### 西副区大会

と き: 6月4日(土)・5日(日)  
ところ: 熊本

#### 一泊懇談会

と き: 7月9日(土)夕・10日(日)昼  
ところ: 鞍ヶ池センター

会 費: 1万円

詳細は7月号ブリテンでご案内しますが、必ず全員参加下さい。

5月24日現在	例 会 出 席 状 況				B F ポ イ ン ト		ク ラ ブ フ ァ ン ド (5月)	
	在 籍 者	24名	第 1 例 会	11名	当 月 ・ 切 手	—	ニ ヽ B O X ノ ー ト	—
例 会 出 席 者	19名	第 2 例 会	12名	当 月 ・ 現 金	—	フ ァ ン ド	—	
当 月 出 席 率	79%	部 会 他	4名	累 計	—	合 計	—	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”  
=強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う=

## 第一例会報告

場所 東区泉 パン・デピス  
ドライバー 三井秀和 君  
アシスト 池野輝昭 君

5月の第一例会は、いつもの栄 不二パークホテルで行っているが、今回は趣向を変えて、おいしい食事と気のきいたワインを傾けながらの例会となりました。

例会会場のパン・デピスは東区の泉にあるトヨタ自動車本社の北東にあり欧風料理、イタリアの家庭料理が好評でまたお値打ちなおいしいワインを出すとのことで、さる航空会社のスチュワーデスの方がよく食べに見えています。(ドライバーの弁)

が、連休あけの月曜日とのことで当日はほぼグランパスのメンバーの貸し切り状態で独身のメンバーから若干のクレーム?も出ましたが、夕刻7時から例会を始めました。当日はメンバー11名と名古屋南山より小林君とグランパスのメンバーのでも在った行本君(5月9日当日は誕生日とのこと)が参加されました。

以前例会でワインのソムリエの方からワインの「ウンチク」のサワリを教えていただいていたことが在りまして日頃はビールか日本酒が主流でおとなしく飲むメンバーがこの日はこのドイツワインがいいとか甘口、辛口がどうか何とかとにぎやかに始まりました。料理の方は素材をあまり手をかけず素材のおいしさを楽しめる料理で、品数、量、味ともに大変よろしく、ワイン飲み放題で¥5,000はメンバーも満足したと思います。おいしい食事をいただきながら6月の西副区大会(5名出席)とシンガポールの世界大会(3名出席)8月の中部大会等の打ち合せをして9時頃に心地よい酔いにひたりながら散会となりました。

最後までスチュワーデスの方がお見えにならなかったが誠に残念でありました。

## チャリティーラン見学記

吉田一誠

去る5月22日(土)第8回チャリティーランが東京で行われました。



開会式(フィリピン大使の挨拶)

チャリティー・ランについてはチャックウィルソン氏の卓話や、準備会で話し合いとしては聞いておりましたが、始めて現場を見ることができ大変参考となりましたので報告まで。

今年で8回目のこの大会も本年は不況の影響もあり昨年より少ない42チームの参加により行われました。チームの中にはあの時話のローレックスが3チーム、カナダ銀行、フィリピン大使館等外国人が多く、インターナショナルにふさわしい顔ぶれでした。ワイズも8チームをサポート(参加費10万円を出資)し、その内東京北ワイズはメンバーが実際に走り、他は代走を立てていた様です。

皇居の周りを2周するリレー方式で行われ1.5km区間が4区、2km区間が2区あり、6名で10kmを走ることになり、内2名は女性とすることが義務付けられています。



仮装コンクール 第1位



スタート(第一走者は女性)

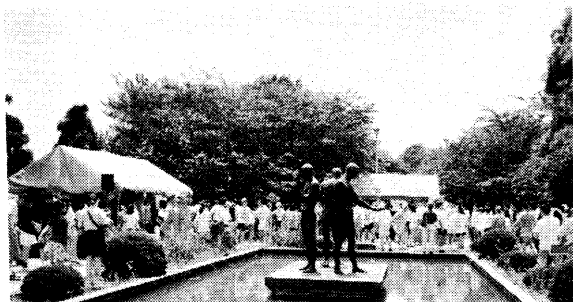
12時のスタート前にチャックさんの司会で主催者あいさつ等のセレモニーに続きコスチュームコンテストが行われ“UFOやきそばん”のローレックスチームがダントツの一位で雰囲気大いに盛り上げていました。

競技の第一位はアイルランド銀行チームで33分台と抜群の早さで優秀の常連とのことでしたが、大部分は40～50分台が多く、一番遅いチームが70分程度でした。

競技終了後同じくチャックさんの司会で表彰式が行われメダルと完走証、企業への感謝状、トロフィーの他協賛企業より出された飲料1ケース等の盛りだくさんの副賞も贈られました。

最後はこれも予めチャリティーで1枚300円で販売されていた“宝くじ”の抽選会、ビール、時計、カメラと賞品も仲々のもので一等はキャセイ航空からの香港往復ペアチケットでした。この他にも無料の飲物(ペプシ)やパン(フジパン)等多量の寄贈品があり、不況の中、多くの人々の善意が支えている大会であることを感じました。

参加費10万円で今回は42チーム、420万円



会場の公園

の資金があり、今までの例では80%程度が収益金となるようです。収益金は障害を持つ青少年を対象に行われるY.M.C.A.のスポーツ、レクレーション、野外キャンプ等にあてられ毎年2000人近くの青少年がこの資金により



第一位はアイルランド銀行

参加しているとのことでした。

サポートする企業の人、ランナーとして参加する人、ボランティアとして支える人、皆がチャックさんと言う良いパーソナリティーを持つ人を中心に楽しく過ごし、収益金も一挙に相当な額の集まるこの大会をみて、欧米社会で極く普通に行われているであろうボランティア活動の拡がりを感じました。

名古屋でこのような大会を開くことは幾多の困難が予想され特にスポンサーを見つけるのが大変であろうと思います。しかしながら難しいからこそ、“ボランティア活動”の新しい分野を切り開くと言う意義とやりがいがあると考えられます。

今の予定では本年11月末頃に開こうと言う方向で進んでいます。グランパスとしてもクラブとしてチャレンジしてはどうでしょうか。

### YMCA国際奉仕活動への要請

去る4月25日名古屋YMCA国際協力奉仕委員会と在名ワイズ会長、YMCAサービス委員の打合せ会があり、特にワイズメンズクラブが主体となって資金、ボランティア、参加を含めて支援するプログラムについての協議を行いました。

#### ◎主なプログラムの予定

- 8月聴覚障害青少年国際キャンプ(タイ)
- 10月30日YMCAバザー
- 11月13日国際協力街頭募金
- 11月末頃チャリティーラン
- 12月クリスマス献金

#### '94年3月第17回フィリピンワークキャンプ

##### 1. バザー

委員長：小尾(名古屋)

副委員長：名古屋プラザ

バザー委員：各ワイズYMCAサービス

##### 2. 連絡主事会への支援

連絡主事をワイズの大会に派遣する為の支援金を集める。(YMCAの業務として出張できるケース外に研修の意味も含めて在名ワイズとして連絡主事を派遣する)。

7月1日現在のメンバー数×500円を各クラブより支出、順番に連絡主事1名を派遣する。(実行方法は別途会長間で調整する)。

##### 3. 街頭募金 委員長は東海クラブにお願い。

##### 4. チャリティーラン

各ワイズで1チームサポート(5万円予定)

##### 5. 次回は10月に打合せ会を行う。

### ハッピーバースデー

- メ ン 7日 林 勝博君
- 26日 滝川 眞充君
- コメット 9日 宮木乃里子さん
- 17日 林 博範君

### 93-94 出席表

94.3.22

No	例会 氏名	2/26 スキー	3/2 フィリ ピ	3/14 第一 例会	3/22 第二 例会	4/11 第一 例会	4/26 第二 例会	5/9 第一 例会	5/24 第二 例会	5/17 ゴルフ	出席 ポイント
1	阿部 一雄	/	○	○	/	○	○	/	○	○	23
2	荒川 恭次	○	○	○	○	○	/	○	/	/	14
3	井川 幸吉	/	/	○	/	○	/	○	/	/	17
4	池野 輝昭	/	/	/	○	○	○	○	/	○	18
5	内垣内 登壘	/	/	○	/	/	/	/	/	/	9
6	馬場 寅太郎	/	/	○	/	○	/	○	/	○	17
7	尾崎 史郎	/	○	○	/	/	○	/	○	/	19
8	加藤 道子	○	/	○	/	○	○	/	○	/	17
9	坂口 功祐	○	○	○	○	○	○	○	○	/	29
10	坂倉 洋	○	/	/	/	/	/	○	/	○	19
11	佐藤 壽晃	/	/	○	/	○	○	○	○	/	17
12	滝川 眞充	/	/	○	/	○	○	○	○	/	22
13	林 勝博	/	/	○	○	○	/	/	/	/	8
14	三井 秀和	○	○	○	○	○	○	○	○	/	27
15	宮木 常二郎	/	/	/	/	/	/	/	/	/	6
16	油口 直広	○	○	○	/	○	○	/	/	/	18
17	吉田 一誠	/	○	○	○	○	○	○	○	/	32
18	吉田 正	/	/	/	○	○	/	/	○	/	22
19	高橋 栄造	/	/	/	/	/	/	/	/	/	3
20	丹羽 真清	/	○	○	○	○	○	○	○	/	22
21	木野村 映	/	○	○	/	○	○	/	○	/	22
22	坂野 清治	/	/	/	/	○	/	/	/	/	8
23	服部 庄三	/	○	○	○	○	○	○	○	/	12
24	早川 隆	-	-	-	-	○	/	/	○	/	2

### 1993-1994年度役員

- 会長 坂口
- 副会長 林、内垣内
- 書記 三井、滝川
- 会計 宮木、尾崎
- EMC 吉田(一)、吉田(正)
- YMCA.S 阿部、井川
- C.S B.F 荒川、馬場、坂倉
- IBC 佐藤、池野
- ファン ド 滝川、高橋、尾崎、宮木
- プログラム 林、油口、加藤、丹羽
- ブリテン 内垣内、三井、  
吉田(一)、木野村
- 直前会長 吉田一
- 連絡主事 木野村